

神戸市会議員

ひらの平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 内線 7060



神戸の未来へ 一市政の現場から平野たつじの取り組み

兵庫区“初”病児保育が実現!

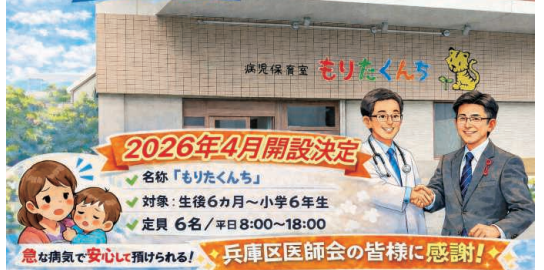
令和8年4月1日、兵庫区初となる病児保育施設「もりたくんち」が開設されます。

発熱などで登園・登校できないお子さんを一時的に預かる病児保育は、子育て世帯を支える重要な制度です。

これまで兵庫区での必要性を強く訴え、兵庫区医師会の皆様との度重なる協議や要望活動を重ねてきました。

その結果、医師会のご尽力と神戸市こども家庭局の協力により、今回の開設が実現しました。

兵庫区“初”の病児保育施設 ついに開設!



妊産婦タクシー制度の見直しを提案

神戸市の妊産婦タクシー



現在、利用率は約61%にとどまっており、さらなる利用促進が課題です。

特に産後ケア事業の利用拡大も見据え、出産後も安心して移動できるよう、利用期限の延長など制度の見直しを提案しました。

妊娠期から産後まで切れ目のない支援の実現を目指します。

小売市場・商店街：ブランドと技術の事業承継を提案

地域に根付いた商店街や市場には、長年培われた“味”や“職人技術”があります。一方で後継者不足が深刻化しており、このままでは地域の魅力が失われかねません。

後継者マッチングや第三者承継(M&A)支援などを通じて、地域の価値を次世代へつなぐ仕組みづくりを提案しました。



兵庫運河の環境整備



兵庫運河の豊かな自然環境を守りながら、再生資源の活用などを通じた持続可能な整備を提案しました。

あわせて、子どもたちの環境学習の場としての機能を強化し、地域の誇りとなる拠点づくりを推進します。

企業や地域と連携した取り組みも視野に入れていきます。

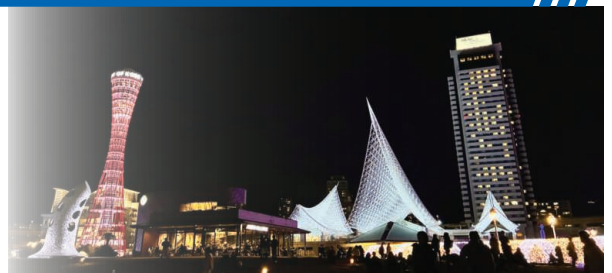
神戸ウォーターフロント回遊性向上!

ウォーターフロントエリアのさらなる魅力向上に向け、回遊性の強化を提案しました。

クルーズ船の活用や夜景スポットの整備などにより、人の流れを生み出し、にぎわい創出につなげていきます。

観光だけでなく、市民が楽しめる空間づくりを目指します。

詳しくは次のページ以降でご紹介します





■ 兵庫運河の環境整備と魅力向上

兵庫運河では、兵庫運河美しくする会や真珠貝プロジェクト、兵庫漁業協同組合の皆様の長年の活動により水質が改善し、環境学習や生物調査が行われる貴重な環境資源となっています。

私は、大阪湾岸道路西伸部工事で発生する石や砂などの再生資源を、運河の環境整備に活用できないか質問しました。

→ 市は、第4防波堤撤去で発生する資材を「あつまれ生き物の浜」で有効活用する計画があり、学識経験者や地元関係者による検討会で整備内容を検討していくとの答弁がありました。

兵庫運河ではアコヤガイの生存率が過去最高の92%となるなど、環境改善の成果も見られています。

今後も環境学習や研究の場としての価値を高め、企業や研究者、観光客など多くの人が関わる地域資源として活用されるよう取り組みを求めました。



兵庫運河での環境学習

■ 神戸ウォーターフロントの回遊性向上

メリケンパークから新港エリアにかけてのウォーターフロントでは、京橋地区の再整備が予定されています。阪神高速道路の大規模更新と連携して、船だまりの再編や埋立てを行い、新たな土地を創出する計画です。

私は、事業費約162億円のうち阪神高速道路にも相応の費用負担を求めている協議状況について確認しました。

→ 市からは、船だまりの再編費用は折半とし、埋立て部分についても一定の負担を求める形で基本協定の締結を進めているとの説明がありました。

また、新港エリアでは平日のにぎわいがまだ十分ではないため、イベントやイルミネーションなどの取り組みをさらに進め、東西の回遊性向上につながる必要があると指摘しました。

さらに、

- ・大型クルーズ船を撮影できる写真スポットの整備
- ・メリケン波止場山本線を国道2号南側から北向きの夜景スポットの活用など、回遊性向上につながる具体的な提案も行いました。



京橋地区再整備エリア

■ ウォーターフロントの防災対策

ウォーターフロントでは、イベント時には同一タイミングで約2万人が滞在することもあります。津波などの災害発生時の避難誘導についても質問しました。

→ 市は、アリーナなどの施設では建物上階への一時避難、屋外イベントでは複数ルートでの段階的避難を計画しているとの説明でした。

私は、多くの来訪者が集中するエリアであるため、実効性のある避難計画を十分に検討するよう求めました。

■ 神戸空港の受入環境整備

2030年の国際定期便就航に向けて、神戸空港の利用者増加が見込まれています。そこで

- ・駐車場の立体化など高度利用の検討
- ・空港内トイレの混雑対策
- ・利用者目線での環境整備

などについて質問しました。

→ 市からは、利用状況の分析を行いながら、駐車場の在り方や施設整備に関西エアポート神戸と検討していくとの答弁がありました。



神戸空港

■ 瀬戸内観光連携

瀬戸内地域の観光振興については、神戸港・広島港・高松港など6港が連携し、クルーズ客船の誘致やプロモーションを進めています。瀬戸内海は世界的にも注目される観光資源であり、都市同士が競うのではなく、連携して魅力を発信することが重要です。

私は、神戸港を起点としたクルーズの拡大に向け、自治体連携をさらに進めるよう求めました。

ご挨拶

最後までお読みいただき、ありがとうございます。日頃より温かいご指導に心より感謝申し上げます。本市政報告では、令和8年2月議会での質疑を中心に、これまでの取り組みをまとめました。これからも地域の声に耳を傾け、身近で信頼される市政を目指してまいります。今後とも変わらぬご指導とご意見をよろしくお願いいたします。

「美味しかったあのお店が、突然閉店していた…」 「店主の急病で、やむなく店じまい…」

そんな寂しい経験、皆さんも一度はあるのではないのでしょうか。
私はこの思いから、小売市場・商店街の未来について質疑しました。



■ 小売市場・商店街を次世代へ

単身世帯の増加や惣菜ニーズの拡大など、地域の消費行動は大きく変化しています。

私は、小売市場や商店街が地域の変化に対応した販売戦略を立てられるよう、神戸市が持つ人口動態や購買傾向などのデータを市場や商店街と共有し、戦略づくりに活かすべきと提案しました。

➔ これに対し市当局からは、商店街連合会や小売市場連合会などと連携しながら情報共有を進め、商店街の実情に応じた支援に取り組んでいくとの答弁がありました。

また、駅ナカ出店や移動販売、夜市イベント、小学校との連携などの成功事例を横展開し、地域のにぎわいづくりにつなげる取り組みを進めるとともに、定年後に商店街で再チャレンジしたい方とのマッチングなど、「つながり」を活かした支援も進めるよう求めました。

■ 市場・商店街のブランドと技術を守る事業承継(老舗の味と技術を守る)

長年続いてきた店舗が、店主の高齢化や後継者不足により閉店するケースが全国的に増えています。私は、小売市場や商店街の店舗は単なる個人事業ではなく、地域の文化や信頼を支える「地域資産」であると指摘しました。

目利きや職人の技術、秘伝の味は、一度失われると簡単には取り戻せません。そのため、技術やノウハウの可視化、後継者とのマッチング、第三者承継(M&A)なども含めた事業承継支援の強化や、モデル地区での承継プログラムの実施を提案しました。

➔ これに対し市当局からは、こうべ産業・就労支援財団など関係機関と連携し、事業承継に向けた支援や橋渡しを進めていくとの答弁がありました。

私は、地域に長く愛されてきた店を守り、神戸から事業承継の取り組みを全国へ発信していくべきと強く要望しました。

中央卸売市場

■ 神戸の“食の拠点”をさらに活性化 中央卸売市場の利用促進

神戸市中央卸売市場では、青果物の集荷拡大に向けた取り組みが進められています。

私は、その成果と課題を確認するとともに、さらなる利用促進や取引拡大に向けた取り組みについて質問しました。

➔ これに対し神戸市からは、集荷拡大の取り組みを継続しながら市場の利用促進を図り、取引拡大につながる施策を検討していくとの答弁がありました。

中央卸売市場は、市民の食卓を支えるだけでなく、飲食業や観光にも関わる神戸の重要な食の拠点です。今後も流通機能の強化と市場の魅力発信を進め、神戸の食文化を支える拠点として発展させていくことが重要だと提案しました。



中央卸売市場本場

神戸市議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP

神戸市会の本会議、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会

■ 妊産婦タクシー制度 —利用期限の見直しを提案

妊娠届出時に交付されるタクシー券の利用期限は「交付から14か月」で、令和6年度の利用率は約61%です。

「期限まで使い切れない」「産後ケア利用時にも使いたい」といった声もあり、特に兵庫区では産後ケア施設が区内にないため移動負担が課題となっています。

🗨️ 私は、産後支援の観点から利用期限延長の検討を提案しました。

➡️ 市はアンケートを実施し、制度見直しを検討するとの答弁がありました。



こども家庭局 予算特別委員会 質疑

■ 産後ケア予約システム —利便性向上

昨年提案した産後ケアの予約一元化システムが実証開始しました。

- ・地図検索が可能
- ・夜間予約が可能(約46%が夜間利用)
- ・電話対応負担の軽減

利用率は出生数の約35%と全国平均を大きく上回っています。

🗨️ 私は、緊急性の高い方への迅速対応と制度の周知強化を求めました。



産後ケア(イメージ)

■ 兵庫区“初”の病児保育が実現

長年の課題であった兵庫区内の病児保育が、令和8年4月にJR兵庫駅南側に開設。これにより神戸市すべての区で病児保育が整備されます。

🗨️ 私は議会で繰り返し必要性を訴え、兵庫区医師会の先生方に相談を重ねながら実現に向けて取り組んできました。

予算特別委員会(こども家庭局審査)では、局長から「平野議員をはじめ兵庫区医師会・神戸市医師会の尽力により実現しました」との発言もありました。

医師会の皆様のご協力に感謝するとともに、共働き世帯にとって大きな安心につながります。

■ 病児保育施設概要

- ・名称:もりたくんち(運営主体:もりたこどもクリニック)
- ・対象:生後6か月～小学6年生
- ・定員:6名
- ・開所:平日8時～18時
※土日祝、年末年始(12月29日から1月3日)などは休室
- ・利用開始日 2026年4月1日(水曜)から
- ・利用料 1人あたり日額 2,000円(昼食代・おやつ代が別途必要)
※所得に応じて利用料の減額有

子どもの急な体調不良は、子育て世帯にとって大きな不安です。今回の開設は、安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりに向けた大きな一歩です。



病児保育室もりたくんち

■ 子育て広報の強化

神戸市には多くの子育て支援制度がありますが、まだ十分に認識されていない制度があります。

🗨️ 私は、市の子育て支援策など利用できるよう企業や地域団体、NPOなどと連携し、相互に情報発信する仕組みづくりを提案しました。

■ 若者自立支援拠点

社会的養護のもとで育った若者などを支援する拠点が令和8年度に新設されます。

相談支援や就労体験、居場所づくりなどを通じて、孤立を防ぐ取り組みです。

🗨️ 市当局に必要な人に確実に届く支援制度を求めました。